

『平成23年度 活動内容』

☆平成23年度青年部講習会・通常総会☆

日 時：平成23年5月18日（水）16：00～20：30

場 所：ホテルニューイタヤ

出席者：29名

平成23年度栃木県青年経営者中央会青年部講習会及び通常総会が開催されました。青年部講習会として矢野正広氏（NPO 法人とちぎボランティアネットワーク）による「災害時におけるボランティア活動」というテーマで講演が行われました。

続いて平成23年度通常総会が開かれ、審議の結果、各議案とも原案どおり可決承認されました。なお、役員改選があり、小林 誠 氏（栃木県電気工事業（工業）青年部会）が新会長に選任されました。

通常総会終了後は、懇親会が開催され、参加者相互の親睦が深められました。

【挨拶する 小林新会長】



【青年部講習会 矢野正広氏】



【講習会の様子】



【退任された栗田前会長】



☆全国中小企業青年中央会 通常総会・代表者会議等☆

日 時：平成23年6月17日（金）13：30～18日（日）

場 所：京都府 京都ホテルオークラ

出席者：358名

平成23年度全国中小企業青年中央会通常総会並びに全国代表者会議が行われました。本会からは小林会長、事務局が出席し、審議の結果全議案が原案通り可決決定されました。

続いて行われた全国代表者会議では、テーマ①として、「夢」：夢の実現のために青年経営者としてどのような取り組みをしているか、組合青年部及び構成員の夢の実現のためにどのような支援ができるのかが協議されました。また、テーマ②として、「有事対応」：震災時における支援機関の対応として青年中央会として何ができるかなどについて活発な議論が交わされました。

また、今回の東日本大震災での被災地である岩手、宮城、福島、茨城の各県会長から被災状況や震災支援などについて報告がなされました。

会議終了後、懇親会が開催され、参加者相互の親睦が深められました。

☆関東信越静岡ブロック中小企業青年中央会 第1回代表者会議等☆

日 時：平成23年7月2日（土）14：30～3日（日）

場 所：山梨県 石和温泉「糸柳」

出席者：約90名

平成23年度関東信越静岡ブロック第1回代表者会議が開催されました。本会からは小林会長、事務局が参加し、審議の結果、全議案が原案通り可決決定されました。なお、全青中堀井会長より東日本大震災での被災地への義援金に対する御礼が述べられ、今後も義援金等による継続的な支援を行っていくことが確認されました。

続いて、代表者交流会が行われ各都県青中の現況等について報告がなされるとともに、災害時の対応マニュアルの作成や節電セミナー開催などの意見が交わされました。

その後、「小笠原流礼儀作法について ～礼儀作法は人間関係の潤滑油～」というテーマで木村講師（小笠原流礼法師範・日本舞踏花柳師範）の講演が行われました。講師は、企業や学校等で講演を行っており、思いやりの心でおもてなしをするのがすべてのサービス業の基本であること、マナー知識は接客業として必要不可欠であること、相手の立場を尊重することの大切さなどについて、実演を交えての講演となりました。

講演終了後、来賓として全青中の堀井会長、山梨県松葉副会長、木村講師を招き交流懇親会が盛大に開催されました。

☆栃木県青年経営者団体協議会 総会・青年経営者セミナー等☆

日 時：平成23年7月4日（月）15：00～18：00

場 所：とちぎ産業交流センター

出席者：約80名

平成23年度栃木県青年経営者団体協議会の通常総会及び青年経営者セミナーが行われました。当会から会員10名及び事務局が参加しました。通常総会においては、各議案とも原案通り可決承認されました。また、役員改選が行われ、栃木県商工会議所青年部会の長谷川氏が新会長に選任されました。なお、本会からの役員については、栗田副会長、鈴木会計監事が退任し、新たに小林副会長、相良会計監事が選任されました。

続いて、青年経営者セミナーとして、(有)てっぺん 代表取締役の大嶋啓介氏によって「どうすれば人が輝くのか ～人が輝けば、店が輝く 輝いている店に人が集まる～」というテーマで講演が行われました。当日は参加者同士のワークが行われ、講師が実践している「朝礼」なども具体的事例を交えて紹介されました。講師からは、経営者として自分に対する勝手な思い込みを捨てて、可能性を信じることの重要性が熱く語られました。

☆リーダー研修会・3県（茨城・千葉・栃木）青年中央会交流会☆

日 時：平成23年9月3日（土）13時～4日（日）

場 所：潮来富士屋ホテル（茨城県潮来市潮来102）

視察先：タカノフーズ(株)～茨城空港

出席者：視察45名、交流会49名（本会より会員6名及び事務局参加）

平成23年度リーダー研修会・3県青年中央会交流会が開催されました。

<視察>

（１）業界最大手のタカノフーズ(株)本社を訪問し納豆の効用、歴史、生産工程などについての説明を受けながら視察を行いました。多品種展開を行うことで売り場のシェア獲得に成功しているノウハウなどを説明していただきました。

（２）茨城空港（百里飛行場）にて空港の概要等についての説明を受けた後、施設見学を行いました。滑走路は航空自衛隊百里基地との共用であるため、他の空港に比べ県の負担は抑えられています。シンプル＆コンパクトが特長で利便性向上のために、駐車場、航空運賃、アクセスなどの面で各種工夫がなされていました。

<交流会>

北利根川を観光船で遊覧しながら、交流会を開催し参加者相互の親睦を深めました。

【タカノフーズ(株) 視察】



【タカノフーズ(株) 試食】



【茨城空港 視察】



【茨城空港 視察】



【交流会】



【交流会】



☆平成23年度 組合青年部全国講習会☆

開催日 : 平成23年11月11日(金)

開催場所 : 青森国際ホテル

参加者 : 274名(当会より小林会長及び事務局出席)

組合青年部全国講習会が開催され、講習会として協同組合八食センター元専務理事の谷村充生氏より「(協)八食センターから見る共同店舗の経営」をテーマに講演がなされました。講師からは、協同組合内に経営概念を入れることの重要性、勝ち抜くために特徴を前面に出すことの必要性等の組織づくりにおけるポイントが説明されました。

続いて、福井県青年中央会の寺本会長より、「どうせ買うならの取り組み事例」をテーマに発表が行われ、会員相互のコミュニケーションを図る機会を増やし、異業種組織として新たな連携を生み出そうとする積極的な取り組み事例が紹介されました。

その後、「視察」として、青森市中心街視察(あおもり街てく)に134名(約20名×7班)が参加し、ボランティアガイドの案内のもと中心街の視察が行われました。歴史を感じさせる建物から近代的な建物までが軒を並べるバランスのとれた街づくりで、ねぶた等の地域資源を有効活用し観光客へアピールする姿勢が感じ取れました。

視察終了後、懇親会が開催され、参加者相互の親睦を深められました。

【全国講習会】



【講演される谷村氏】



☆平成23年度後継者育成セミナー・懇親会☆

開催日 : 平成23年11月20日(日)
開催場所 : セミナー「黒羽山 大雄寺」
懇親会 「ホテル塩原ガーデン」
参加者 : 10名(会員8名、事務局2名)

23年度後継者育成セミナーとして、曹洞宗の禅寺「黒羽山 大雄寺」において、坐禅及び倉澤良裕住職の法話を聞く研修を行いました。坐禅については、1. 調身、2. 調息、3. 調心 という3つのポイントを押さえつつ、「只管打坐(しかんたざ)」＝「ただ ひたすらに坐る」こと、「それに成りきること」を体験しました。(この間、約40分)

その後、住職から「清掃(作務)」についての法話をいただきました。釈迦が物忘れが激しい弟子のチューダ・パンタカに一本の箒を与え掃除をするように指示したエピソードが紹介されました。ただひたすら掃除を継続することが、心を磨くこと、自己を磨くことになったという逸話をもとに、ひたすらにつとめる姿勢が重要であることが説かれました。

また、「ミョウガ」を食べると物忘れが激しくなるという噂の根源が、釈迦の弟子である上記のチューダ・パンタカの墓からミョウガが出てきたためとのエピソードを紹介していただきました。

掃除は自己をみつめる絶好の機会として、①掃除した人の「心」がきれいになる＝心を清める、②掃除した「場所」がきれいになる＝物を生き生きとさせる、③見た人の「心」がきれいになる＝感動を与える、④社会全体がきれいになる、という流れを意識して物事に取り組むと新たな視点が持てるようになるとの法話をいただきました。

その後、ホテル塩原ガーデンにて懇親会を実施し、参加者相互の親睦を深めました。

【倉澤住職の法話】



【セミナー参加者】



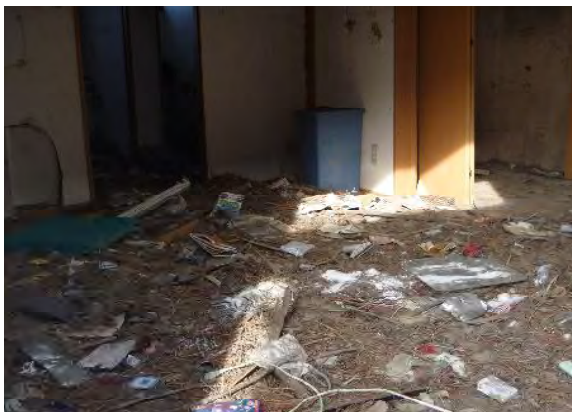
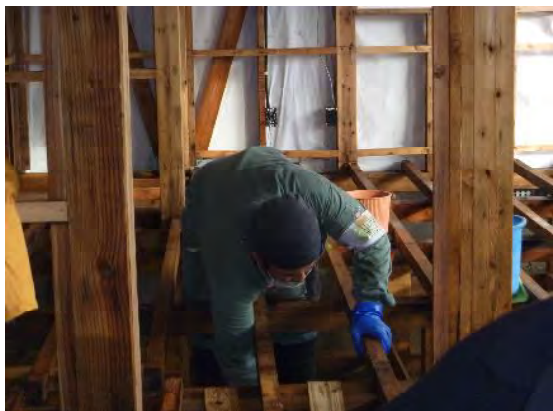
☆山元町 日帰り応援ボランティア参加☆

日時 : 平成 23 年 11 月 27 日 (日)

場所 : 宮城県山元町

11 月 27 日に、とちぎボランティアネットワーク主催の「山元町日帰り応援ボランティア」に参加しました。

【ボランティア活動の様子】



☆平成24年新春賀詞交歓会☆

開催日 : 平成24年1月26日(木)
開催場所 : 「ホテルニューイタヤ 桜の間」
参加者 : 約100名(会員10名、事務局2名)

栃木県青年経営者団体協議会主催の平成24年新春賀詞交歓会が開催されました。賀詞交歓会では、長谷川会長(県商工会議所連合会会長)の主催者挨拶の後、来賓として福田県知事、岩崎県議会副議長、中村県商工会連合会会長が挨拶を行いました。

続いて、乾杯・歓談が行われ、参加者相互の懇親が深められました。

なお、協議会の発展に尽力された次の方々に感謝状及び記念品の贈呈が行われました。

樋口貴則氏(前会長)、栗田勝実氏(前副会長、青中特別理事)、
大瀧和弘氏(前福会長)、高野祐治氏(前副会長)

【青年協議会 正・副会長】



【挨拶をする福田富一知事】



【賀詞交歓会の様子】



【謝辞を述べる栗田氏】



☆関東甲信越静岡ブロック第2回代表者会議・講演会☆

開催日：平成24年2月17日（金）

開催場所：甲府市 アーバンヴィラ古名屋ホテル

参加者：代表者会議39名、講演会81名（小林会長及び事務局出席）

関東甲信越静岡ブロック第2回代表者会議・講演会が開催され、本会からは小林会長及び事務局が参加しました。

まず、代表者会議が開かれ、①関ブロホームページ管理規約一部変更、②次期全青中役員の関ブロからの役員選出、③今後の関ブロ事業について審議されました。

続いて、『『県産ワインのブランド化と品質向上を目指して』～若手醸造家による地域に根差したワインの研究と普及活動～』をテーマに、アサンブラージュ会長の野沢たかひこ氏及び雨宮一樹氏により講演が行われました。

内容は以下の通りです。

◆テーマ①

「気候風土を醸す日本ワインを目指して」～山梨から世界に発信するワイン～
・日本在来品種の「甲州種」を大切に個性のある甲州ワインを造ることを心がけている勝沼ワイナリーズクラブでは、“良いワインは良い葡萄から”をモットーに、自家園産の葡萄を中心に高品質原料葡萄の収穫など、葡萄の品質を高めることに重点を置いている。日照時間を確保し葡萄の糖度を上げる“垣根栽培”により、糖度の高いバランスの取れた醸造専用葡萄を栽培している。ワイン醸造においても“葡萄の風味が生きたワイン”になるよう、低温醗酵により果実味溢れる香りが出るように心がけるとともに、お客様に的確なアドバイスをするために、シニアワインアドバイザーの資格を取得し、日本とフランスのワイン造りの良い部分を取り入れ、より高品質のワイン造りに取り組んでいる。

◆テーマ②

「ワイン醸造家という表現者」～一人の山梨県人として～
・ワインの中には、果実本来の味と醸造技術を組み合わせた「個性」が詰まっている。ワインツーリズム（地域住民によって育まれてきたワイナリーを巡る事で勝沼の歴史・人々・思いを多くの方々に伝える）に取り組む。山梨県産100%のワイン造りを目標に、葡萄によるワインの品質をさらに向上させるべく契約農家と共に切磋琢磨している。コストパフォーマンスの良いワインを造り、他のワイナリーと比べ全体に価格を抑えている。